

せたがや福祉区民学会会長挨拶

せたがや福祉区民学会会長 長谷川 幹



皆さん、こんにちは。せたがや福祉区民学会会長の長谷川幹と申します。

今日は第13回大会の開催にあたり、一言、ご挨拶いたします。

せたがや福祉区民学会は、世田谷区の福祉の向上を目指し、区内の大学、福祉事業所、区民、行政関係者が一堂に会して、日頃の実践活動や研究を発表し交流する学会として、平成21年12月に設立されました。現在、昭和女子大学、日本大学文理学部、駒澤大学、東京都市大学、日本体育大学、東京医療保健大学、東京農業大学、日本女子体育大学の8大学及び事業者、区民、行政が参加されています。このような学会は、全国的にもなく、大変ユニークな学会です。また、今年度から学会の理事に学生2人に加わっていただき、若い英知をいただき、学会のさらなる発展に寄与されることを大いに期待しております。

これまで12回の大会が開催され、600を超える発表事例は、せたがや福祉区民学会のホームページに掲載され、いつでもご覧いただけますので、是非、ご覧ください。昨年度に引き続き、今回も新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、インターネット開催となりましたが、49の発表があり、意見交換もWebで実施します。そして、今回ははじめてZoomで、学生理事・実行委員を中心に「希望をもって暮らしつづけられるまちとは」をテーマにワークショップを行います。第13回大会もWebでの開催となりましたが、皆様からご質問や感想をいただき、皆様のお力添えで、大きく盛り上げていただきたいと思います。

皆様、どうぞ、よろしく願いいたします。